

第8回 夏休み 親子コンサート

《プログラム》

L.バーンスタイン / 「キャンディード」序曲

ベートーベン / 交響曲第7番より第1楽章

オーケストラの楽器紹介

デュカス / 交響詩「魔法使いの弟子」

アンダーソン / トランペット吹きの子守唄

ヨハンシュトラウス / ポルカ「雷鳴と電光」

みんなで歌おう！～さんぽ



指揮：三矢幸子
演奏：港北区民交響楽団

港北公会堂
2007年8月26日（日曜日）

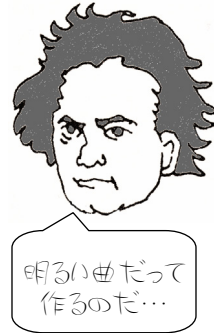
主催 港北区役所・港北芸術祭実行委員会・港北区民交響楽団

「キャンディード」序曲 / L.バーンスタイン

バーンスタイン(1918-90)はアメリカを代表する作曲家・指揮者です。指揮者としてはカラヤンと並んで絶大な人気を集め、また、札幌で教育音楽祭を開催するなど若い音楽家の育成にも熱心でした。作曲家としては映画化もされたミュージカル「ウェストサイド物語」など、クラシックをベースにジャズやロックの要素も巧みに取り入れた作品を残しています。「キャンディード」は青年キャンディードを主人公とするオペラ(ミュージカル?)で、この「序曲」は速い! にぎやか! あれよあれよの勢いで演奏されます。

交響曲 第七番 より 第一楽章 / ベートーベン

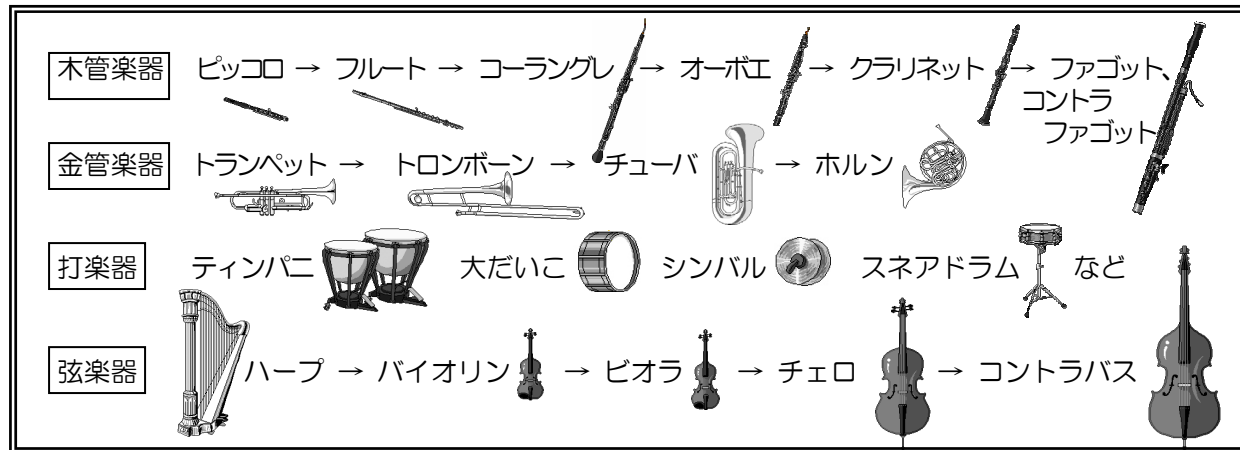
最も有名な作曲家の一人、ベートーベン。9つ作曲した交響曲の中では「第五番(運命)」「第六番(田園)」「第九番(合唱付)」などが有名です。副題のない第七番は「隠れた名曲」的存在でしたが、昨秋にドラマ「のだめカンタービレ」のオープニング曲に使われてから一気に有名になりました。オーボエから始まるゆったりとした序奏のあと、この楽章の基礎となる「ターッタラン、ターッタラン」という符点のリズムにのってフルートが軽快なメロディを奏でます。何だかうきうきとした気分させてくれる、明るい曲です。



オーケストラの楽器紹介

別紙【図解】オーケストラもあわせてご覧下さい

トトロ、もののけ姫などおなじみ宮崎駿アニメのメロディにのせて、各楽器の音色をご紹介します。次の順番で演奏されます。



交響詩「魔法使いの弟子」 / デュカス

フランスの作曲家デュカスがドイツの文豪ゲーテの詩から題材をとって作曲した楽しい曲です。音楽は次のような物語にそって作られています。

ある日、一人の魔法使いが弟子に水くみと掃除をしておくように言いつけて出かけた。弟子は楽をしようと思い、そばにあったほうきにバケツで水くみをするほうきはせっせと水を運び、樽はいっぱいになってあふれだしましたが、どうしましょう! 弟子は呪文をとく方法を知らなかったのです。怒ってほうきを二つに折ると、それぞれが水くみを始めるありさま。やがて部屋は水びたしになり、弟子はおぼれそうになります。そこへ運よく魔法使いが帰ってきて、呪文をといてくれました。



トランペット吹きの子守唄 / アンダーソン

アンダーソンはアメリカの作曲家で、オーケストラで演奏する楽しい小品をたくさん残しました。この曲は夕暮れ時、トランペット吹きが夕日に向かって吹いているイメージでしょうか... オーケストラでも主役はトランペット、他の楽器は伴奏役です。トランペットといえば勇ましいラッパのイメージが強いですが、こんなに優しく甘い演奏もできるんですね。



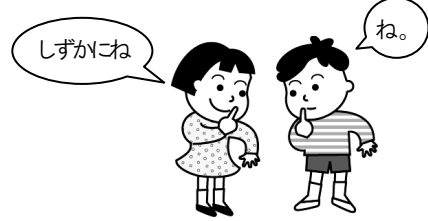
ポルカ「雷鳴と電光」 / ヨハン・シュトラウス二世

シュトラウスは音楽の都・ウィーンを代表する作曲家で、ワルツやポルカなどの踊りの曲をたくさん作曲しました。この曲は「雷」をテーマとしたポルカですが、不安や怖いイメージではなく、とても楽しく陽気な曲で、大雨が通りすぎていったあのような爽快感があります。大太鼓を初めとする打楽器がドドロドロピシャーンとにぎやかに雷の音を表現します。実際は雷ではなく、当時開催されていたパリ万博で聞いたドイツ製の大型の音にヒントを得たともいわれています。

コンサートでのおやくそく

きょうき 今日来てくれたお友だちに おねがいがあります。

おんがく 音楽がはじまったら・・・



☆ おしゃべりをしないこと

☆ 大きなおとをたてないこと

☆ たちあがったり、あるきまわったりしないこと

たの 楽しいコンサートにするために、みんなでまもってね！

保護者の皆様へ — 演奏会のマナー —

クラシックに限らずほとんどの演奏会では、未就学のお子さんの入場は制限されています。これは、長時間の音楽鑑賞が辛くなったお子さんが、声を立てたり動き回ったりして他のお客様の妨げになることを防ぐためです。

この「夏休み親子コンサート」は、そういった制限にとらわれず、小さなお子さんにもオーケストラの演奏を身近に聴いて楽しんでいただくという目的で開催しております。

ただし、ご来場の方々にできるだけよい条件でお楽しみいただくため、下記の点をお守りいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

- ・ お連れのお子さんとは一緒に座っていただき、特に小さなお子さんからは、目を離さないようにおねがいします。
- ・ 演奏が始まってからは、おしゃべりしないようご注意ください。どうしても話す必要があるときは、ささやき声でおねがいします。
- ・ 演奏中は紙やビニールなどでガサゴソ音

をたてないように、ご注意ください。

- ・ お子さんがぐずったら、叱らずに、ろびーで気分転換させてください。その際、移動はできるだけお静かにお願いします。ホールに戻るときは、曲の間や、音の大ききところで、そっとお入りください。

また保護者の皆様には、お手元の電子機器について、下記の点をお願いいたします。

- ・ 演奏中は、携帯電話、ポケットベルの電源をお切りください。
- ・ 演奏中は、腕時計のアラームをお切りください。
- ・ 演奏中のカメラのフラッシュはご遠慮ください。

「クラシックだからお行儀良く聴く」のではなく、みんなが音楽に集中できるよう、お互いに気配りするのが、演奏会のマナーの本質であるをご理解いただき、お子さま方をご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

港北区役所／港北区民交響楽団

◆ げんがっき 弦楽器 ○ もっかん 木管楽器 ● きんかん 金管楽器 だ 打楽器

【図解】オーケストラ

○ クラリネット
 やわらかい音、鋭いメロディ、高い音から低い音まで何でも演奏できます。左の大きい楽器はバスクラリネットです。

○ フルート
 金色や銀色に光るフルートは美しく澄んだ音色です。左の黒くて小さな楽器はピッコロで、とても高い音を出します。

◆ ティンパニ・打楽器
 ティンパニは音の違う2つ以上の大きなたいこを1人で演奏します。シンバル、トライアングルなど数多くの楽器が活躍します。(今回はオーケストラ正面奥に位置します)

◆ バイオリン
 オーケストラの中で一番人数が多いバイオリン。コンサートマスターは見つけられたかな？

● トランペット
 良く通る音色のトランペットは、曲のクライマックスで大かつやくします。

● トロンボーン
 腕をのばすと楽器が伸びちぢみするトロンボーン。3人できれいな和音を奏でます。

● チューバ
 とても大きな楽器ですね。低くてやわらかく太い音を出します。

○ ファゴット
 上に白い輪のついたファゴットは低い音。歯切れの良いメロディーが得意です。右の大きな楽器はコントラファゴットです。

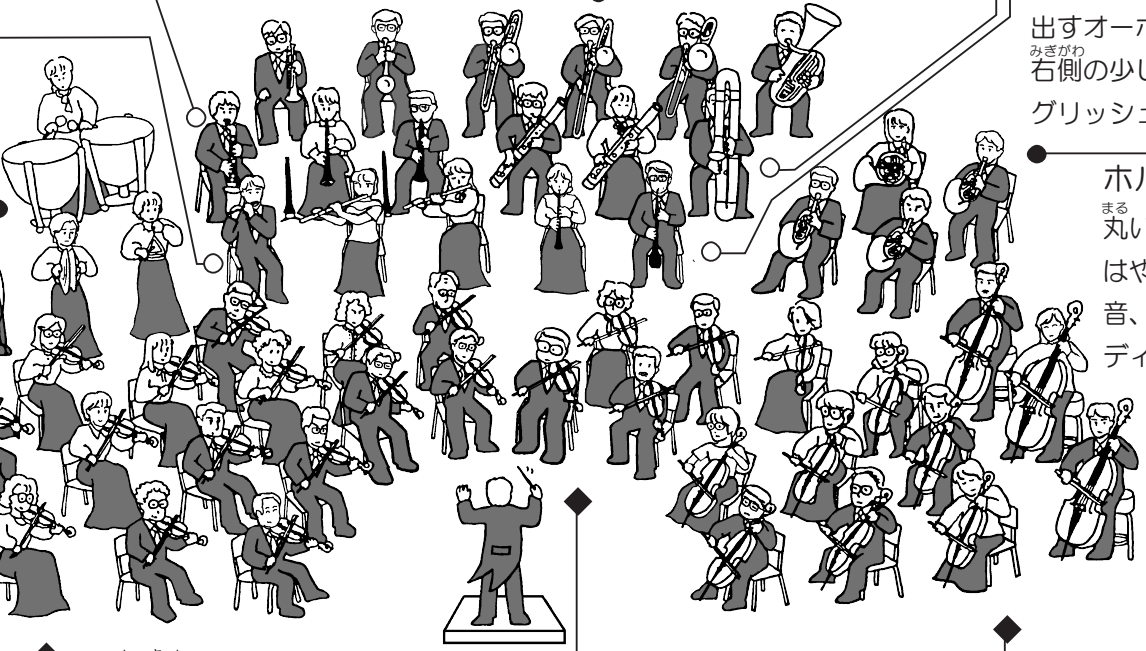
○ オーボエ
 オーケストラの中で最初に音を出すオーボエ。右側の少し大きな楽器は、イングリッシュホルンといいます。

● ホルン
 丸い形のホルンは、時にはやわらかくてやさしい音、時には勇ましいメロディーを演奏します。

◆ コントラバス
 楽器のほうが人間よりも大きいですね。弦楽器の中で一番低い音を出します。

◆ ビオラ
 バイオリンより少し大きいビオラは、バイオリンより少し低くてシブい音がします。

◆ チェロ
 楽器が大きいので、ひざで抱えて演奏します。メロディーを弾いたり伴奏をしたりします。



★ しきしゃ 指揮者
 棒一本でオーケストラ全体を動かす、リズムや音の大きさ、曲の流れなどを指示します。